

ロボット支援手術

ダヴィンチ5 導入しました！

兵庫県内で2番目の導入になります

西宮渡辺病院では、7月より米インテュイティブサージカル社が開発した第5世代となる最新の手術支援ロボット **ダヴィンチ5** を導入しました。これまでよりも、150以上の改良が施され、医師が鉗子にかかる力を感じ取れる「力覚（触覚）フィードバック機能」などを搭載し、消化器外科、泌尿器科にてより低侵襲で安全・高精度な手術が可能になります。

新任医師ご紹介

西宮渡辺病院

泌尿器科主任部長 **上田 康生** うえだ やすお

2026年7月に赴任いたしました。2001年卒、兵庫医科大学病院、宝塚市立病院、そして西宮市立中央病院で10年勤務いたしました。

当科は今まで外来診療が中心でしたが、このたび、がん診療、手術・入院治療を本格的に開始いたしました。私自身、泌尿器全般の診療を行います。西宮市立中央病院では、特に前立腺がん診断の標的生検、結石や前立腺肥大症のレーザー手術、ロボット手術においては、その立ち上げから約500例の泌尿器ロボット手術に携わってまいりました。

当院にも今月、最新機種であるダヴィンチ5が導入されています。引き続き、地域のみなさまの医療に貢献できるように努める所存です。何卒よろしくお願い申し上げます。



西宮渡辺心臓脳・血管センター

脳神経外科 副部長 **南本 新也** みなみもと しんや

新たに6月より脳神経外科に配属となりました。元々は関東圏にて勤務しておりましたが、3年前より高校時代までいた関西圏に戻り、診療を行っています。

脳神経外科一般に加え、脳血管障害や頭痛診療を専門としております。

頭痛専門外来も開設しておりますので、お気軽に受診してください。



法人関連施設

●社会医療法人 渡邊高記念会 / 西宮渡辺病院 / 西宮渡辺心臓脳・血管センター / 西宮渡辺夙川南病院

西宮渡辺心臓脳・血管センター 広田クリニック / 西宮渡辺心臓脳・血管センター 東灘クリニック / 勝呂クリニック

介護老人保健施設ハートケア西宮わたなべ / グループホームてまりの家 / 定期巡回・随時対応型訪問看護看護事業所わたなべ

グループホーム西宮わたなべ / サービス付高齢者向け住宅ひだまり / すくすく保育 わたなべ / 訪問看護ステーション西宮わたなべ

通所リハビリテーション / 居宅介護支援センター西宮わたなべ / 西宮渡辺ヘルパーステーション / 西宮市中央在宅療養相談支援センター / 健康塾

●社会福祉法人 高明会 / 特別養護老人ホーム シルバートピア西宮 / 居宅介護支援センターはまかぜ



わたなべニュースに対する皆様よりのご意見・ご感想をお待ちしております。

当院各階詰所・1F受付に設置しております 「ご意見箱」 をご利用ください。

【発行元】社会医療法人 渡邊高記念会 法人本部 【TEL】 0798-74-2630 【FAX】 0798-74-0199

【URL】 <https://www.n-watanabe-hosp.jp/>

社会医療法人渡邊高記念会 広報誌

わたなべニュース

Nishinomiya Watanabe Hospital Public Relations Magazine



vol.146

2026.7.15

開院記念のご挨拶

「理事長 ご挨拶」

社会医療法人 渡邊高記念会
理事長

佐々木 恭子



6月1日は

「西宮渡辺心臓脳・血管センター」

「西宮渡辺夙川南病院（旧 西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院）」

「介護老人保健施設・ハートケア西宮わたなべ福祉の郷」

の開院記念日です。

法人創設者渡辺高の誕生日に合わせた開院で法人の地域医療への思いが詰まった各々の病院と施設が無事に開院記念日を迎えられましたのも皆様の暖かいご支援とご協力の賜物と心より御礼申し上げます。

今年6月1日、前浜町の西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院は「西宮渡辺夙川南病院」となり、新たなスタートを切る事ができました。これも一重に皆様のご協力の賜物と感謝いたしますと共に引き続きのご支援とご協力を心よりお願い致します。物価の高騰、働き手の不足、医療、介護への逆風は止まりませんが最善を尽くし皆様のご期待に添える私達である事を願っております。宜しくお願い致します。

「脳卒中心臓病法案」成立の年、2018年6月1日に開院した西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院は、地域包括ケア病床50床、回復期リハビリテーション病床60床、合計110床を有する包括期（回復期）病院へと生まれ変わります。

病院名を「西宮渡辺夙川南病院」に改めての新たな出発です。

包括期の使命である地域と地域の生活者を大切にする生活支援型病院：「西宮渡辺夙川南病院」としての再スタートです。

「脳卒中・回復期リハビリテーションセンター」、「心臓リハビリテーションセンター」この病院が持つ大切な機能を二つのセンターとして残すと共に、在宅支援を目的とした地域包括ケア病棟を加えた新しい形の地域支援型包括期病院となる「西宮渡辺夙川南病院」のスタートが、地域の高齢者医療とリハビリテーション医療のより一層の発展に繋がります様に願っております。宜しくお願い致します。

なお、ハートケア西宮わたなべ（老健）、てまりの家（認知症対応グループホーム）、デイケアについては体制を維持しておりますので、引き続きのご利用をお願い致します。

内憂外患の厳しい時代ではありますが、西宮渡辺病院、西宮渡辺心臓脳・血管センター共々暖かいご支援ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

「管理者 ご挨拶」

西宮渡辺心臓脳・血管センター
管理者

渡邊 慶明



6月1日をもって、西宮渡辺心臓脳・血管センターはまた新たな一年を迎えることができました。

4月に新たに木原康樹先生を病院長に迎えました。先生には豊かな学識と経験を地域に還元していただき、より一層地域医療への貢献をと願っております。周囲の医療事情が変化する中であっても、地域の循環器・脳血管疾患を担う最前線の病院として、これからもその役割を果たしてまいります。

西宮渡辺夙川南病院は、地域包括ケア病床と回復期リハビリテーション病棟を有する包括期病院へと生まれ変わります。

心臓脳・血管センターとはまた異なった意味で、時代の最先端の機能を有する病院です。関東をはじめ各地で同様の機能転換が相次いでおり、近年では、病院機能の転換に合わせて、病院名もブランドや理念を前面に出した名称へ改める例が見られるようになりました。しかし当法人は、あえて「夙川」という地域の名を残しました。これは、医療は地域に根ざしていかなければならないという、創業者以来の私どもの決意の表れです。

私自身は、このたび心臓脳・血管センターの管理者を拝命する運びとなりました。木原病院長をお支えし、良い病院にできるよう微力を尽くしてまいります。皆様におかれましても、引き続きご助力・ご支援を賜れましたら幸いです。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



URL



LINE

西宮渡辺夙川南病院 新体制 ご挨拶

「管理者 ご挨拶」 西宮渡辺夙川南病院 管理者 槌田 昌平

西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院は、おかげさまで本年6月1日に開院8周年を迎えることができました。これもひとえに、地域の皆様をはじめ、関係機関の皆様の温かいご支援とご協力の賜物であり心より感謝申し上げます。

この節目の年にあたり、当院は病院名を「西宮渡辺夙川南病院」へ変更いたしました。前浜町の「福祉の郷」に2018年に開院して以来、新型コロナウイルス感染症への対応など、さまざまな環境の変化を乗り越えながら、地域医療の一翼を担ってまいりました。新しい病院名には、地域に根ざした医療機関として、より幅広い役割を果たしていきたいという思いを込めています。

今年度は当院にとって大きな飛躍の年となります。これまで老人保健施設「ハートケア西宮わたなべ」として運用していた3階病床を、新たに地域包括ケア病棟として活用し、さらに年度末には回復期リハビリテーション病床の増床も予定しています。これにより、急性期治療後の患者さんの在宅復帰支援や在宅療養支援機能を一層充実させてまいります。

本院や西宮渡辺心臓脳・血管センター、訪問看護ステーション、地域の医療・介護施設との連携をさらに深めながら、地域包括ケアシステムの充実に貢献してまいります。病院名は変わりますが、患者さんや利用者の皆様に寄り添う私たちの姿勢は変わりません。新たな名前とともに新たな一步を踏み出し、地域の皆様に信頼される病院を目指して、職員一同力を合わせて歩んでまいります。今後ともご支援、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



「副管理者 ご挨拶」 西宮渡辺夙川南病院 副管理者 船内 正憲

令和8年6月から組織改編を経て新しくなった夙川南病院の副管理者を拝命しました。ここでは入院患者様の多くが、ひとまず急性期医療に一段落がついて転院して来られた人達です。日常生活動作や経口摂取・排尿管理に問題があったり、一度は治ったけれど、また同じ病気を繰り返すリスクを抱えていたりして、引き続き総合的なケアが必要な人達です。

昨今の高齢化社会において、健康寿命を延ばす事が重要と言われます。一方で、この病院での入院の対象となる様なグループ、即ち、急性期の病態は乗り切ったが、無事に自宅あるいは社会に復帰するまでの期間を過ごす人達の割合は、恐らく急速に増加していると想像します。そこで、当法人の一機関として、これらの人々の「生活と生き甲斐」を少しでも下支えすると言う使命感を持って、スタッフ一丸で事に当たりたいと思います。



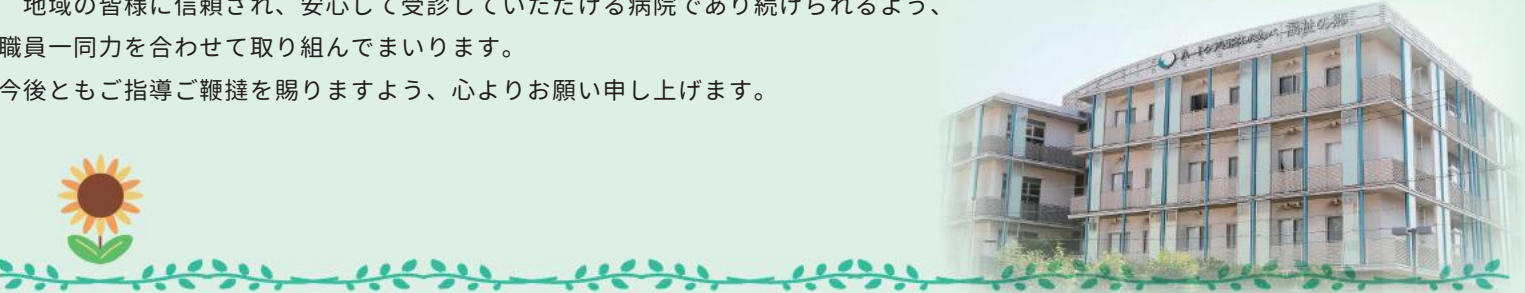
「院長 ご挨拶」 西宮渡辺夙川南病院 院長 合田 亜希子

2026年4月より院長を拝命いたしました、合田亜希子（ごうだあきこ）と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

これまで兵庫医科大学で循環器内科医として診療・教育・研究に携わってまいりました。2022年4月からは西宮渡辺心臓脳・血管センターで副院長として、急性期医療のみならず、回復期や在宅へとつながる医療の重要性を強く実感してまいりました。

2026年6月、西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院に新たに地域包括ケア病棟を開設する運びとなりました。本病棟は、急性期治療を終えられた患者様の在宅復帰支援に加え、軽度から中等度の肺炎や尿路感染症、脱水症など、いわゆるサブアキュートな疾患の患者様を受け入れる機能を担います。これにより、急性期病院とは異なる役割で地域の救急医療を支え、患者様が住み慣れた地域で安心して療養し、生活を続けていただける体制づくりに貢献してまいります。

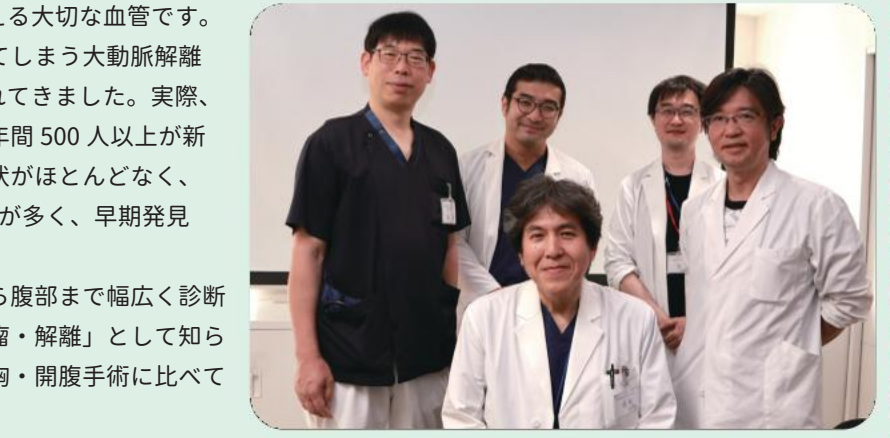
地域の皆様に信頼され、安心して受診していただける病院であり続けられるよう、職員一同力を合わせて取り組んでまいります。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



西宮渡辺心臓脳・血管センター 大動脈疾患専門外来のご紹介

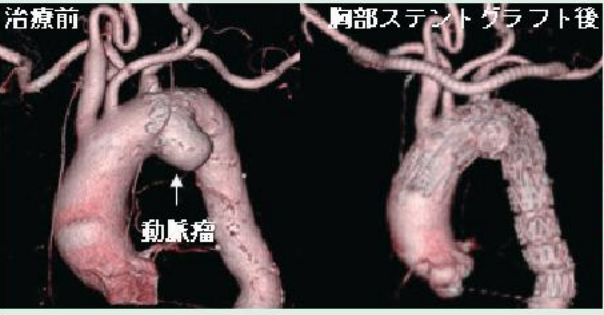
大動脈は、心臓から全身へ血液を送る“命の幹”ともいえる大切な血管です。この大動脈に「こぶ」ができる大動脈瘤や、壁が裂けてしまう大動脈解離は、かつては発症すると命に関わる病気として恐れられてきました。実際、全国的にも患者数は増加しており、兵庫県内だけでも年間500人以上が新たに発症するとされています。特に大動脈瘤は自覚症状がほとんどなく、健診や地域の先生方のエコー・CTで偶然見つかることが多く、早期発見が何よりの鍵となります。

当センターでは、こうした大動脈疾患に対し、胸部から腹部まで幅広く診断と治療を行ってきました。近年は「切らずに治す動脈瘤・解離」として知られるステントグラフト治療が大きく進歩し、従来の開胸・開腹手術に比べて体への負担が大幅に軽減されています。



カテーテルを使って大腿の血管から治療器具を挿入し、病変部を内側から補強する方法で、入院期間も短く、日常生活への復帰が早いことが特徴です。当院には胸部・腹部ともに複数の指導医・実施医が在籍し、緊急症例を含め高度な治療に対応できる体制を整えております。大動脈瘤や解離は、早期に見つけることで守れる命が確実に増えます。地域の先生方と連携し、これまで救えなかった患者さんを一人でも多く救いたいーその思いから、このたび「大動脈疾患専門外来」を開設いたしました。

火曜日午後・木曜日午前に心臓血管外科外来で診療を行い、急性大動脈解離については救急外来で24時間対応いたします。大動脈に関するご心配や、検査で異常を指摘された患者さまがおられましたら、どうぞお気軽にご相談ください。地域の皆さまと共に、これからも患者様の命と未来を守る医療を進めてまいります。（松本 康）



形成外科・美容医療センター 移転のご案内

前浜町に2021年1月にオープンしました形成外科・美容医療センターは、2026年9月1日より、西宮渡辺心臓脳・血管センター健康館1階に移転いたします。国道2号線沿い、JR西宮駅より徒歩5分の距離になり、利便性が高くなります。詳細はホームページなどでご案内いたします。

新住所
西宮市西宮市池田町 3-25
西宮渡辺心臓脳・血管センター 健康館 1 階



骨盤底外来をはじめました 西宮渡辺病院

西宮渡辺病院 婦人科にて 火曜日午後、金曜日午後 骨盤底外来を行います。こんなお悩みありませんか？
● 咳やくしゃみで尿が漏れる ● 急に尿意がきて、トイレに間に合わない
● トイレが近くて外出が不安 ● 陰部に下がる感じ 違和感がある
それ、「年のせい」とあきらめていませんか？
多くの方が同じようなお悩みを抱えています。

手術をしなくても改善できる場合があります
まずはご相談だけでも大丈夫です！
骨盤底専門の女性医師（柏原 宏美）が、しっかりお話を伺います。
どうぞお気軽にお越しください。



婦人科部長
柏原 宏美

